

▼スポーツ祭東京2013で100mを力走



日本国内最高峰の障害者スポーツ大会と位置付けられている「ジャパンパラリンピック陸上競技大会」の400mリレーで金メダルを獲得したことが評価され、山口県のメダル栄光賞を受賞。また「岩国市人権啓発フェスティバル」ポスターの部で奨励賞を受賞するなど、文武両道を実現するために頑張っているのが山岡さんです。

頑張ります！

幼いころから動いたり、走ったりすることが大好きで、小学6年生のときに障害者陸上クラブへ入会。コミュニケーションが苦手で、最初はコーチの指示に従ってみんなと一緒に決められたメニューを行うことがほとんどでしたが、大会に出場しても一番早く走りたいう欲もなく、自分の順番がきたらただ走るといふ繰り返しだったという山岡さんですが、初めてメダルをもらったときに周りの人から褒められたことがうれしくて、これをきっかけに「メダルをもうらう。1番になる」を口癖にみんなと同じ練習をするようになります。それ以降、記録も順調に伸び、昨年5月に山口市で開催されたキラリンピックの陸上競技1000mでは、ピストルの音と共に

Vol.60

山岡 大騎さん
(青木町在住)

スポーツ・文化の各分野における全国規模の大会などにおいて優秀な成績を収めた個人または団体を讃える山口県メダル栄光賞を受賞。

一気にスタートダッシュ。見事1位となり、2年連続で国体(全国障害者スポーツ大会)に出場しました。家では、規則正しい生活を送り、好きな曲を聞いてリラックスタイリ、絵を描いたりして過ごしているという山岡さんは、ピアノや水泳もこなします。「1つでも自分にできること、分かることが増え、自立した生活を送ることができるよう多くのことにチャレンジしてほしい」と話す両親。3月に岩国総合支援学校を卒業し、春から就労に必要な知識や能力の向上のために訓練などを行う事業所「第2しらかば園」で、山岡さんの新たなチャレンジが始まります。最後に「今年は長崎で国体が開催されますが出場を目指しますか？」と聞いかけると、山岡さんは「はい。出場できるように頑張ります！」と明るく元気に答えてくれました。



▲ピアノコンクールでの演奏



▲ぎふ清流大会では100mで銅メダルを獲得(右から2人目)